

## 神奈川県消防長会にAED トレーニングセットを寄贈

神奈川県遊技場協同組合(理事長：関根貞雄)と神奈川福祉事業協会(会長：平川正寿)は、この度社会貢献活動の一環として、地域社会との共生を目指し、安心・安全まちづくりに貢献するため、神奈川県消防長会(県下26消防本部の消防長で構成)に対し、AED トレーニングセット35セット(約1,220万円相当)を寄贈いたしました。

1. 寄贈日時	平成21年6月24日(水) 14:10~14:20 ※神奈川県内全消防本部の消防レスキュー大会に併せ寄贈しました
2. 寄贈式開催場所	横浜市消防訓練センター
3. 寄贈先	神奈川県消防長会 代表者：川崎市消防局長 福元 幸徳氏
4. 寄贈物品	○ 寄贈物品 AED レサシアン トレーニングシステム ○ 寄贈数 26消防本部に対し、35セット 約1,220万円相当 ・横浜市、川崎市消防本部へ各3セット ・横須賀市、藤沢市、相模原市、小田原市消防本部、足柄消防組合へ各2セット ・その他の19消防本部へ各1セット

5. 概要 神奈川県遊技場協同組合では、昨年、同組合に加盟する県内のパチンコ・パチスロ店の70数パーセントの店舗にAEDを設置するとともに、各店舗の従業員が救急救命講習を受講しました。平素から直接市民等に対してAEDの取扱要領や救急救命講習の指導に携わっておられる県下の全消防本部に、高性能トレーニングセットを一台でも多く配備し、これまで以上に訓練効果が発揮され、突発的に心臓発作を起こすなどした傷病者が一人でも多く救われることにつながることを願いつつ、今次寄贈に至ったものです。

寄贈にあたり、関根理事長は「AEDの設置も大切であるが、これを適切に扱うには訓練も必要です。これを機会に益々有効活用され地域での訓練に役立って頂ければ幸いです。」と挨拶いたしました。これに対し、寄贈を受けた川島恒夫相模原市消防局長は「AEDの需要は益々高まっており、訓練の必要性も認識され始めています。今回、全県下の消防本部に多数のトレーニングセットを頂いたことは大変有り難いことであり、県民の救急救命率向上のために役立てていきたい。」と述べられました。



表彰を受ける県遊協 関根理事長